

# せいろうまち せ 聖籠町

# 議会だより



トキめき国体への準備セーリングプレ大会（網代浜船だまり）

VOL.  
84  
平成20年10月31日発行

平成19年度決算を認定 4ページ

8議員が一般質問 6ページ

委員会報告 18ページ

# 議会の全員協議会が 常任委員会と同格に

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴って、全員協議会は、法律上、正規の議会活動として位置づけられました。常任委員会と同格になり、議事録を残すこととなります。

このことによって、聖籠町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例など関係条例の改正を行いました。

## 下水道事業会計 補正予算

### 主な質疑

平成20年第3回定例会は、9月17日から29日までの13日間の会期で開かれました。町長から行政報告があり、地方自治法の一部を改正する法律に伴う関係条例の整理に関する条例、教育委員会委員の同意、人権擁護委員の推せんなど22議案を慎重に審議し原案どおり可決しました。また、請願2件、陳情5件を採択し、子どもたちが学費を心配せず私立高校で学べるようにするために、私学助成の増額・拡充を求める意見書など6件を可決しました。

一般質問では、8人の議員が学校管理、防災・防犯、農・漁・商工業政策について町政を質しました。

### 全体計画 見直しの意図は

小川益一郎議員 下水道事業の全体計画を見直す

### 県の計画に 合わせ見直し

上下水道課長 下水道事業も集落部は、平成21年度で工事が終了する。

工事を進めてきた中で、当初計画の中に宅地開発予定地区が見込まれていた。

しかし、いまだ開発が進んでいない。

下水道事業は、都市計画の中にあるので、関係課と調整している。

平成21年度の県の全体計画見直しに合わせ、町の全体計画も見直すものである。



▲整備が終わった下水道工事（杉谷内地区）

# 一般会計補正予算

要援護世帯暖房費扶助費  
新発田川廃川敷地取得費  
下水道事業特別会計繰出金

420万円  
770万円  
2308万円減額

平成20年度一般会計の既定予算に1725万円を追加し、総額76億8020万円とするものです。主なものは、要援護世帯暖房費扶助費420万円、水田農業確立対策補助金650万円、港湾事業負担金800万円、新発田川廃川敷地取得費770万円、下水道事業特別会計繰出金2308万円減額、財政調整基金積立金717万円などです。

## 主な質疑

フォーラムの具体的な内容は

中村恵美子議員 新潟港利用活性化・産業発信フ

フォーラムとは何か。具体的に何をやるのか。今後、継続的にこのフォーラムをするのか。

## 東京で企業にPR

町長 聖籠町は、新潟市・長岡市・三条市などと今年の1月に国際物流を旨し、新潟港振興協会を立ち上げた。

港の整備促進だけでなく、背後地の企業誘致もしなければならぬ。

フォーラムは、東京の企業に新潟港をアピールするため11月25日に開催する。

今後、定期的に関東圏へPRを続けたい。

## 土地取得後の計画は

加藤正之議員 新発田川廃川敷地を取得後、具体的にどのような計画があ

るのか。取得する面積はどのくらいなのか。

整備して公園にする

ふるさと整備課長 取得する面積は、2111平方メートルである。今後の計画は、整備して河川公園にする。中の橋集落の公会堂建設の予定もある。

遊具数の設置基準はあるのか

宮沢光子議員 児童遊園から遊具がどんどん撤去されている。

集落から要望があれば、遊具を設置するということだが、要望がなければそのままなのか。幼い子どもと親にとつ

て、児童遊園に行っても遊具が少なく、遊ぶ環境は非常に悪い。児童遊園に設置する最低限の遊具数の基準はあるのか。

## 基準はない

保健福祉課長 面積の関係で、児童遊園、児童公園という名称別になつているが、設置する遊具数の基準はない。

児童遊園という名称であっても、遊具がないという状況もある。集落の意向にもよるが、今後、児童遊園がなくなるといふこともあり得る。



▲新発田川廃川敷地（中の橋公園予定地）

# 平成19年度決算7会計を認定

平成19年度一般会計並びに特別会計決算7会計は、決算審査特別委員会に付託され、9月に24日から26日の3日間にわたり慎重に審議しました。

町長、副町長ほか関係課長の出席を求め、各会計毎に審査しました。その結果、本会議において、委員長報告のとおり全会一致で認定しました。

## 一般会計決算

▼平成19年度一般会計決算においては、町債1億7599万円の発行を含めた歳入総額が前年度より2億4474万円（3・4％）増加し、実質収支額4億857万円の大幅な黒字となり、経常収支率67・0％（前年度73・6％）、公債比率6・3％（前年度8・9％）であり、財政の健全性は前年度より向上している。

この大幅黒字の要因の主なものとして、町税の78・9％を占める固定資産税が東北電力㈱の第4―2号系の運転開始により、前年度対比17・2％の増となったことにも見られるように、当町の財政は東港立地企業の大規模償却資産に大きく左右されることから、不安定な財政基盤であるとも言える。

今後とも安定した財政運営を目指すことを要望する。

町税の収入未済額は、5246万円の前年度から667万円増加した。担当課が決め細かい対応で努力していることは理解できるが、税の公平性の観点から尚一層の努力を望む。



▲慎重に審議された決算審査特別委員会

## 特別会計決算

▼国民健康保険特別会計については、国民健康保険税の収入未済額は4815万円の前年の4829万円とほぼ同額である。しかもこの額は調停額の11・7％なっており、そのウェイトは極めて高い。

国保は高齢化の進展とともに、医療技術の進歩に伴う医療費の増大により多くの構造的な問題を抱えており、保険財政は非常に厳しい運営を余儀なくされている。

国保会計の運営を健全化するためにも更なる努力を望む。

▼公共下水道事業特別会計については、平成21年度で年間継続してきた下水道事業が実質的に完了する。

下水道工事が完了しても水洗化できない区域外世帯に対して、町民の公平性という観点から、合併浄化槽設置等に対する助成措置等について町独自の対策の検討を要望する。

▼老人保健特別会計、介護保険特別会計、新潟県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計、水道事業会計の特別会計についても認定した。

# 決算委員会での主な提言

## 防 災

消防法による消火栓の設置基準を満たしていない地区が7カ所あるが、町民の生命と財産を守る観点から、可及的速やかに設置することを強く要請する。

今後住宅が新築され、新たに設置が必要になった場合も速やかに設置を要望する。

## 旧医師住宅

旧医師住宅の管理について有効利用策を検討する等、方向性を決める時期と考える。

## 敬 老 会

敬老会の運営は基本的に町の仕事である。

集落の老人クラブが世話をやっているが、町主体でやるべきと考える。

また対象者は年々増えており、対象年齢についても検討すべき時期がきていると考える。

検討されたい。

## 園舎、学校

塩害で傷みが激しい園舎や学校施設は、子どもたちの安全を守ることを優先し、実態を的確に調査したうえで適切な対策を打つことを要望する。

## 各小学校

小学校の机の入れ替えは教材のほとんどがA版サイズになっている実態を踏まえて、現行の6年計画を大幅に短縮して入替えをはかられたい。



▲老朽化が進む亀代小学校



▲20年4月にオープンした歴史資料館（蓮濁地区）

## ふれあい農園、交流館「杜」

ふれあい農園、交流館「杜」については毎年見直しを指摘しているが、改善と営業努力がみられない。

「検討委員会」の設置について18年度決算委員長報告でも要請したが、再度「検討委員会」の設置を要請する。

## 歴史資料館

歴史資料館工事はバリアフリーに対する対応策が不足していると考え、バリアフリー対策は時代の要請であることから、公共施設のバリアフリー対策を具体的に検討されたい。

### ●国際交流事業

### ●町立図書館建設調査委員会

### ●トキめき新潟国体のリハーサル大会

## 行政報告



渡邊町長

▼平成9年8月に、中国黒龍江省ハルビン市教育局と「友好交流協定」を、双方の小中学校で「友好学校交流覚書」を、調印してから今年で11年目を迎えました。

今年、8月1日から6日までの6日間の日程で、ハルビン市少年宮に所属する児童、生徒22人と教師6人が来町しました。

▼国から地方への税源移譲に伴う平成19年度個人住民税の減額について、18年度の所得に比べ、19年度の大幅に減少した人で、所得税率の変更による税負担の軽減を受けず、住民税の変更による税負担の増加のみ受けた人が対象です。

▼国体推進について、今年度は来年度のため、競技別リハーサル大会開催年です。9月12日から15日まで、08全日本セーリング選手権大会、高松宮妃記念杯第54回全日本実業団ヨット選手権大会、第10回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会が開催されました。

▼町立図書館建設調査委員会は、6月に委員の囑をいたしました。すでに2回の委員会を終えています。審議状況の会議録は、図書館で開示しています。

▼「芸術・スポーツ文化の町」宣言のモニユメントは8月中旬に発注しました。11月2日、町文化祭の開祭式に除幕式を行います。

274万円減額しました。申告期間は終わりましたが、やむを得ない理由がある場合は、適切に対応します。

平成20年8月末現在479人から申告があり、平成19年度町県民税額1

### 教育委員に

## 伊藤 恵美子 さん

平成20年10月31日で任期満了になる蓮濁の伊藤恵美子さんを引き続き任命する同意を求められ、賛成13反対0で同意しました。

伊藤さんは、平成16年11月1日、同委員に任命されました。1期4年間の実績と人格、識見とも優れたひとです。引き続き教育行政にその手腕を期待します。

### 人権擁護委員に

## 森 猛義 さん

人権擁護委員である蓮野の森猛義さんが、平成20年12月31日で任期満了になることから、再度推薦されました。全会一致で適任と認めました。

森さんは、人格、識見共に高く、広く社会の諸事情に通じ、地域社会で信頼も高い人です。引き続き手腕を期待します。

### 固定資産評価審査委員に

## 高橋 龍義 さん

固定資産評価審査委員である駒田文雄さんの後任として、道賀新田の高橋龍義さんを全会一致で同意しました。

高橋さんは、長年にわたり団体役職員として勤務され、その豊かな経験により、同委員として期待される知識を十分に備えている人です。今後の手腕に期待します。



みなさんの

# 請願・陳情

## 採択となった請願

- ◎燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願〔提出者 農民運動新潟連合会代表者 町田 擴〕
- ◎介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制度の改善を求める請願〔提出者 新潟県社会保険推進協議会会長 坪谷 誠〕

## 採択となった陳情

- ◎子どもたちが学費を心配せず私立高校で学べるようにするために、公費（私学助成）の増額・拡充を求める意見書の採択に関する陳情〔提出者 新潟県私学の公費助成をすすめる会会長 宮下弘治〕
- ◎道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に関する意見書の採択について（お願い）〔提出者 新潟県道路整備協会会長 佐藤邦義〕
- ◎「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情書〔提出者 新潟県弁護士会会長 高野 泰夫〕
- ◎道路整備の陳情書〔提出者 山大夫区長 中村義人〕
- ◎藤寄集落下通り地区防災道路整備に関する陳情書〔提出者 藤寄副区長 遠藤 博〕

## 意見書 6 件を国・県に提出

- ◎子どもたちが学費を心配せず私立高校で学べるようにするために、私学助成の増額・拡充を求める意見書（国宛て）（県宛て）
- ◎地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書
- ◎燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める意見書
- ◎介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制度の改善を求める意見書
- ◎道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に関する意見書

# 第1回臨時議会

### 主な質疑

町税の還付金の内訳は

加藤正之議員

平成20年第1回臨時議会が7月15日、1日間の日程で開催されました。提出された議案は、平成20年度一般会計補正予算です。審議し原案どおり可決しました。

町税の内訳、人数はわかるか。当初予算では、個人対象の還付金は、600人を対象にしていたが、どうなったのか。

まだはつきりしない

税務財政課長

主な補正は、時間外勤務手当41万円、町税還付金2000万円、県消防大会に出場するための経費208万円です。

7月1日から町税の還付金受付を開始した。7月1ヵ月間なので、まだはつきりしない。9月には報告できる。



▲今年も県大会出場(二本松消防団)

## 読者の声



手嶋 満さん  
(藤寄)

### 「聖籠町に思うこと」

今後、少子高齢化の中、新潟県も若者の定着、雇用、医療制度の充実が問題であり焦点となっております。大きな流れの中で高齢者医療、子どもの教育、若者の雇用等をこれから先、いかに構築していくのか、課題は山積しています。

聖籠町においては、東港が海外との玄関口となり、工業地帯あり、農漁村、新興住宅地が混在して、今後どのように町の風景があるのかイメージしにくい感があります。

衣・食・住という点から考えてみますと、食では、米から野菜、果物に至るまで色々と豊富で地産地消の土地柄です。しかし、今後、後継者難ということを考えてどうなっていくのでしょうか。

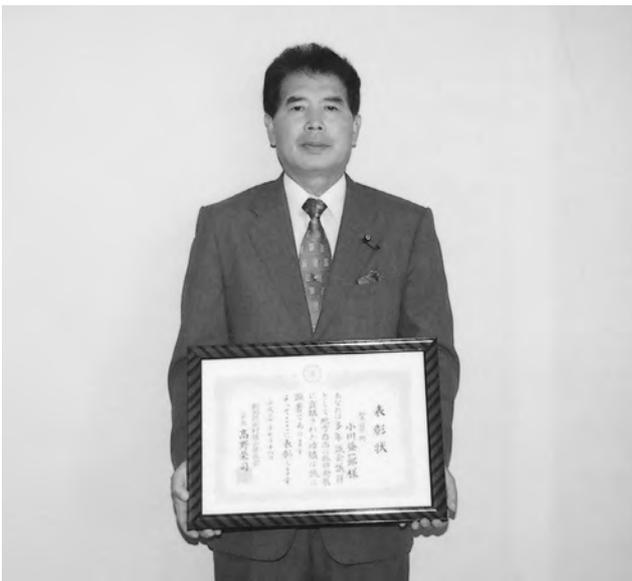
住環境では、都市近郊型の農村地帯という中で、住みよい環境であるが、他地域、新興地域との繋がりが必要となります。東港からの人の出入りによる治安状況も課題であります。

広報紙は、町の情報を適確に伝えており、わかりやすく感謝しています。今後は、町の行政に関心を持ち、進んで参画していきたいと思えます。

## 自治功労者

### 新潟県町村議会議長会 から表彰される

多年（10年以上）にわたり、町の地方自治の振興並びに議会の発展に貢献され功績のあった小川益一郎 議員が、この度（平成20年7月）県町村議会議長会から表彰されました。



# 8議員が質問

## — 高松守雄 議員 (10ページ) —

1. 学校管理について
2. 事故原因はソフト面だけか

## — 宮沢光子 議員 (11ページ) —

1. どう考える防災・防犯力の向上
2. 積極的にボランティア育成を
3. どう分析している不登校率

## — 五十嵐利栄 議員 (12ページ) —

1. 町独自の経済対策を
2. 多重債務対策の徹底を
3. 職員の健康管理充実を

## — 加藤正之 議員 (13ページ) —

1. 充て職の報酬は疑問
2. 入札審査の規程違反でないか
3. 戸別所得補償制度をどう考えるか

## — 小川益一郎 議員 (14ページ) —

1. 村下開発の現状は
2. 県下一不登校者原因は
3. 町の自殺者なぜ多い

## — 堀常正 議員 (15ページ) —

1. 急げボランティア育成
2. 防げスポーツ離れ

## — 小林政榮 議員 (16ページ) —

1. どうする本町農業の将来
2. 不安なライフライン

## — 中村恵美子 議員 (17ページ) —

1. 無料妊婦健診を14回に
2. 石綿被害救済等の周知を

ズバリ  
直言

町政を問う

一般質問

# 学校管理について



高松 守雄議員

## 町長 来年、補強改修工事を完了

**問** 昨年は役場庁舎や町の各施設の耐震調査を実施した。

今年度は調査の結果を踏まえ、亀代小学校の校舎と体育館及び山倉小学校の体育館の耐震改修実施設計業務の経費が計上されている。

亀代小学校も昭和53年開校以来、30年経過し、この夏、小学校の子ども達が窓の開かない教室で暑い夏を我慢してきた。

塩害で非常階段の手すりが錆びてぼろぼろになって危険である。

学校管理というのはどうなっているのか。

**町長** 指摘のあった箇所等については承知している。

子ども達の安全、安心

を確保する上での学習環境を整える大事な分野なので基本的には町の予算の優先的な配分を考えている。

**教育長** 確かに亀代小学校は老朽化している。

耐震補強と一緒にやったほうが効率的であることから、先送りしてきた。

予定通り工事が出来るよう県と事前協議を進めている。



▲交通事故に気をつけよう（国道113号線）

## 事故原因はソフト面だけか

### 町長 日常的には安全確認不足

**問** 全国的に交通事故発生件数も減少してきている中で、県でも死亡事故が55年ぶりに激減、しかし当町では7月末までの件数も負傷者も慢性的に増えている。

運転者が交通マナーやルールを守らないことによるものと思われるが、安全施設や道路の不備による事故はないのか。

また、事故の多い国道113号線で新潟市の松浜橋上流橋が来年開通する。

県、直轄の管理下の高規格道路の実現に向けての進ちよく状況はどうなっている。

**町長** 事故発生の根本的な問題、原因についてはソフト面がやはり多い。

町の交通安全基本計画に基づき警察当局と連携

いしながら施策を講じている。

また、交通危険箇所マップを作成して周知し、町民に事故防止を呼び掛けている。

113号線の町における高規格道路については、東港の工場地内網代浜に出る海岸線道のバイパス化も調査活動し、要請している。

# どう考える防災・防犯力の向上

## 町長 多様な形で注意喚起している

**問** 昨年、聖籠町にとって、初めての「まちなか防災訓練」が行われた。

今年は、10月26日に計画されている。今年の訓練の主眼は何か。防災リーダーを対象にした防災講習は行われているか。

自治体の防災力が問われる時代になった。

町は「防災のしおり」を配布したが、配布しただけでは町民の防災意識の向上にはならない。

「防災のしおり」を活用し、被災体験の生の声を聞く「防災懇談会」や

新年度の振り込み詐欺、少年犯罪の実態など警察の防犯担当者から聞く「防犯懇談会」を年に1回でも開くことを提案する。

**町長** 今年の「まちなか防災訓練」は、昨年の反省を踏まえながら、各集落の幹部を中心としたリーダー研修をしている。

訓練によって災害に対する共通認識を共有し、隣近所の連帯意識を深めてもらいたい。

「防災・防犯懇談会」については、年に1、2回は必要だと思うが、今

後の課題である。



宮沢 光子議員

## 積極的にボランティア育成を

### 町長 自主防災活動を推進し育成

**問** 地域防災計画改正の一つに「ボランティア育成」がある。各分野で様々な形のボランティアがあるが、実際に行動を起こしてくれる人は少ない現状である。

従来あるボランティア組織とともに、今後、組織づくりが考えられる災害ボランティア、トキメキ団体の運営に関わるボランティア育成をどう考えているか。

**町長** 町の社会福祉協議会や日赤奉仕団との連携を強化したい。自主防災活動を推進して地域間サポート体制の確保と育成をはかる。

今後「ボランティア協会」の設立も視野に入れ検討したい。



▲地道な活動をする日赤奉仕団

## どう分析している不登校率

### 教育長 一時的な現象である

**問** 8月、新潟県内の中学生の不登校率が新聞報道された。聖籠町が県内で一番高い数値が出た。この実態をどう分析しているか。

**教育長** 非常に残念な結果が出た。不登校の原因は一人ひとり違う。19年度の数値の分析は、特定の学年に集中していることから一時的なものと思

# 町独自の経済対策を



五十嵐 利栄議員

## 町長 国、県の動きをみてから

**問** 原油価格の高騰に伴う諸物価の大幅値上げで、町内の農・漁・商工業者は大変苦しんでいる。  
 そんな折、ウルグアイラウンド合意で輸入している、工業用出荷米を不正流通し、保育園や老人ホームの食用などに供給されていた事実が発覚した。  
 町民も食の安全が脅かされており、一日も早い全容解明を望んでいる。  
 町長は、町村会長の立場で国や関係機関に対策を働きかけるべきだ。  
 農・漁・商工業者に、町独自の特別融資制度など緊急経済対策を考えてもらいたい。  
**町長** 事故米の不正転売問題については、私も憤

## 多重債務対策の徹底を

### 町長 町の配置は難しい

**問** 貸金業法が改正され、利率で、債務者の負担はほとんどが25%以上の岩手県盛岡市は昭和59



▲安全な県産米の米粉

りを感じている。政府の対応についても疑問を感じている。県内の町村レベルでも、国に対して正しい対応を求めている。しい対応を求めていく。特別融資制度など経済政策は国、県の動きをみながら対応する。

年に「多重債務に強い町づくり」を目指し、消費者生活相談の中に多重債務専門員を配置し、大きな成果をあげている。振り込め詐欺対策を含めて、行政として取り組む考えはないか。  
**町長** 町は多重債務者の窓口を総務課に開設している。社会福祉協議会でセーフティネット貸付制度がある。  
 町として専門職員の配置は難しく、弁護士と相談する方が解決が早い。

## 職員の健康管理充実を

### 町長 法の趣旨を尊重する

**問** 7月に町の大切な財産である2人の現職職員が亡くなった。  
 ①町長はこのことをどう

受け止めたか。②現在及び過去1年前から長期休養職員は何人か。③メンタルヘルスケアは。④安全衛生委員会の開催については、国の指導は月に1回以上、町の実態はどうか。  
**町長** ①職員の死は残念。②長期休養者は現在1人、過去に2人である。③丸山先生の健康講演会など。④今までは年に1〜2回だったが、今後は法の趣旨を尊重する。

# 充て職の報酬は疑問

## 町長 特に問題はない

**問** 町長は町村会長として県町村会の関係で71、新発田地域広域事務組合の副管理者など聖籠町長としての充て職が89、合計151の充て職に就いている。

**町長** 本来の公務を優先してしているので支障は来たしていない。

充て職に伴う報酬等は、全てではないが関係機関・団体の規約などに沿って受けている。

公用車で行って費用弁償を貰うことには、矛盾を感じないわけではないが、職員と異なり給与の二重給付などの違法支給に当たらないことなどから、特に問題はない。しかし、倫理的に好ましくないと、いうならば将来考えたい。

聖籠町長の報酬以外に、充て職等で報酬や費用弁償などを貰っているか。

公用車で行って費用弁償を貰うのは疑問だが、どのように考えているか。

一口メモ

※充て職とは

特定の職（首長など）にある者が、別の特定の職に就かされる（充てる）こと。

首長は、通例多くの充て職を抱えている。こうした充て職への就任は、一般に、首長本人の自発的な意志に基づかず、自動的に行われる。



加藤 正之議員

## 入札審査の規定 違反でないか

### 町長 嚴重注意をした

**問** 実態のない営業所名で入札、落札・契約している業者があったが、建設工事入札参加資格審査規定（変更の届出）第9条に違反していないか。

**町長** 業者に悪質な行為があったわけではないので、嚴重注意の行政指導の範囲だった。

**総務課長** 県に通報し、業者にも来てもらい実態を調査した。その結果、業者は営業所を変更する認識がなく、県も変更を認めなかった。従って、第9条での問題はない。

## 戸別所得補償制度をどう考えるか

### 町長 答弁は控えたい

**問** 政府が昨年、19年産米の価格下落に歯止めをかけるために行った緊急対策の結果、米価は上昇し、効果を現したが、この恩恵は生産調整に参加している農家も参加していない農家にも等しく及んだ。

入することで、現在の生産調整参加者・不参加者間の不公平は払拭できるが、どのように考えるか。

**町長** 農家にとっては有意義な政策になれると思うが、具体的な内容や財源的な裏づけなど、不明朗な点も否めない。答弁は控えたい。



▲収穫の喜び

# 村下開発の現状は



小川 益一郎議員

## 町長 住環境整備に努力

**問** 一大事業として取り組んだ次第浜村下開発事業の現状と見通しを確認したい。

①総事業費の見込みと項目毎の数値を示せ。②現時点の売却状況は。③老健施設の大口売却単価は。④完売の目標年次は。⑤借入金返済は大丈夫か。⑥組合理事者の抵当権設定は。⑦換地の不平、不満は解消されたか。⑧一般地権者は保留地が完売するまで売却できないという誓約書を取られている。法に違反しないのか。違反しない場合の法的根拠はあるのか。

**町長** 不毛の土地を区画整理で魅力ある町並み整備の一環として、住宅政

策を推進したい。

①総事業費見込みは12億6288万円。道路等公共施設整備5億1356万円、上水道整備工事6億5157万円、換地設計事務9775万円、町直接施工の地区外排水路既存町道接続下水道工事1億9170万円。②売却状況は9月10日現在契約済24区画、予約10区画未定58区画。③大口売却単価は坪5万5000円。④完売目標21年度末。⑤借入金返済は計画どおり21年9月と22年2月に返還を求める。⑥理事者の抵当権設定はない。連帯保証人引受承諾書のみ徴している。⑦換地等の不平、不満は適宜説明し理解を得ている。町への報告はない。⑧誓約書の提出は、一般換地売却制限として紳士協定であり、売却しても法に違反するような法的根拠に及ぶものでない。



▲明日もまた行きたくなる聖中

## 県下一不登校者原因は

### 教育委員長

### 一過性のもの

**問** 中学校建設のコンセプトに「明日もまた行きたくなる学校」と謳っている。日本一いきいきした学校を目指している学校になぜ県下一の不登校者(5・2%26人)とは

何か、原因と改善策は。

**教育委員長** 教育委員会は比較的肯定的に見ている。学校が楽しいと答えたアンケートに89%の生徒がいる。原因は、一過性のものと考ええる。

## 町の自殺者なぜ多い

町長 過去10年で48人

**問** 町の自殺者が多い。自殺者は何人か、町の具体的予防対策は。

**町長** 自殺の要因は難しいが社会全体で取り組むたい。自殺者は過去10年で48人。

# 急げボランティア育成

## 町長 必要性を痛感している

**問** ボランティア活動は地域に密着した住民自治につながる誰でも参加できる活動である。

行政の多様化、当町の現状、環境からも今後この必要性が増大すると思う。

活動を発展させるため2つの提案をする。

最初に早い時期での普及啓発活動をはかること。こども園や小学校時期に保護者と一緒にボラン

ティアの学習、体験を取り入れること。

中学生の体験学習の一環として進めること。

次に、企業や団体等、協同組合などへの活動の呼びかけがもっと必要でないか。

また、ボランティア活動をする上で物資支援など多少でもあれば、活動をもっと行える人も出てくるのではないか。

**町長** 小さいときからの意識づけ、教育現場での対応は必要である。

体験学習の一環の中でのボランティア参加の推進をはかっていく。

企業の社会的責任のボランティア活動は多彩な形で展開されている。総合的な町の行政指導のもとで、自助、共助、公助この3つを結びつける組織を作っていく必要性を痛感する。

この活動に伴う道具、経済的な支援は当然である。



堀 常正議員

## 防げスポーツ離れ

### 教育長 広報活動に努める

**問** ここ数年近隣市町においては子どもたちのスポーツ離れが加速し、スポーツ少年団などのチーム結成もできなくなっている。

必然的に身体を動かし、遊びの中で覚えるマナーやルールがなくなり、人が人として形成される大事な時期に精神的、体力的にも大きな問題である。

**教育長** スポーツの啓発活動は大事だと思う。これからも機会をみて、小中学校の教員、こども園の職員への働きかけをしていきたい。



▲身体を動かさせ子どもたち（亀代こども園）

# どうする本町農業の将来



小林 政榮議員

## 町長 農家の指導、助言を

**問** 農業は、国の政策により大きく左右され、自助努力を重ねても、経営の改善や安定を確立することは大変に難しい状況にある。

こうした時代の中で、本町農業の状況をみれば、農業粗生産額においては、この10年間で約12億円も減少した。  
農家戸数は30年間で約500戸も減少している。他産業との就業人口割合をみると、昭和60年には28%だった就業率が、平成20年には13%と大きく減少し、この減少傾向は現在も変わることはない。

この農業の現況をどのように捉え、本町農業の将来をどのように構想し



▲安心安全な上水場

ているか。  
**町長** 国や県及び農協等連けいを深めて、山積する多岐にわたる問題を検討する。

個々の営農努力と行政支援が、かみ合う、独自性のある経営の確立を目指すことが肝要である。本町総合計画の基本方

針に基づき、農家の皆さんから指導、助言をもらい対応したい。  
来年度の転作は強い覚悟をもって対応していく。

## 不安なライフライン

### 町長 迷惑をかけ反省している

**問** 住民に対する防災訓練は、防災の意識化をはかる、啓発活動として意義あると考える。

町の防災並びに危機管理体制について危ぐせざるを得ない。  
短時間であるとはいえ、生活の要である上水道が停止したにもかかわらず、担当課からは何の連絡もなかった。

停水時の状況が不明であることは、町民に不安を与えると同時に混乱のもとでもある。  
再発防止に万全の対応を望む。

**町長** こうした事態に対応する、危機管理対策マニュアルの策定を進めている。

上水道施設や設備の老朽化が進み、既に一部改修工事を実施している。再発の防止に万全を期したい。

# 無料妊婦健診を14回に

## 町長 来年度に向けて検討

**問** ① 聖籠町では、平成20年4月からは無料で受けられる妊婦健診が2回から5回に増え、喜ばれている。厚生労働省が14回が望ましいと通知した

ことにより、各自治体でも5回以上となった。現代社会では、非正規雇用の増加や結婚によるリストラ等どんな状況になるかわからない。子どもを安心して出産

できるよう、聖籠町でも妊婦健診を14回以上にすべきでないか。

② 里帰り先での妊婦健診で、無料の妊婦健診を残して里帰りをした場合、関川村、見附市、妙高市では里帰り先の施設と契約している所がある。また、8自治体では償還払いで対応している。

妊婦が里帰りをしても安心して妊婦健診が受けられるようにすべきでないか。

① 妊婦健診を14回については、国の動向と相まって一層の子育て支援の強化のため、来年度から妊婦健診の無料化に向けた検討をしている。

② 里帰り先での妊婦健診については、県医師会との委託契約により、県内の医療機関であればどこでも健診を受けることができる。

県外からの里帰り妊婦については、医療機関との委託契約の対応が可能な問題がある。基本的に対応できるよう前向きに検討したい。

① アスベストを使っている企業は、17年度調査で3事業所ある。事業所には町より適切な指導をしている。

② 現在把握している被災者は2人である。この病名で亡くなった人は、平成10年から19年までの調べで2人いた。

広報紙には18年に3回、19年に1回掲載。町は必要に応じた対策をはかりたい。

① アスベストを使っている企業は、17年度調査で3事業所ある。事業所には町より適切な指導をしている。

② 現在把握している被災者は2人である。この病名で亡くなった人は、平成10年から19年までの調べで2人いた。

広報紙には18年に3回、19年に1回掲載。町は必要に応じた対策をはかりたい。



中村 恵美子議員

## 石綿被害救済等の周知を

### 町長 町広報に4回掲載済み

**問** ① 町内に立地している事業所で石綿、または石綿含有製品を取り扱ったことがあるか、現在でも取り扱っている事業所があるか。

**町長** ① アスベストを使っている企業は、17年度調査で3事業所ある。事業所には町より適切な指導をしている。

② 石綿に関する健康診断を実施している自治体は11%で、7%の自治体は組織的に住民の健康管理をしている。聖籠町内で中皮腫、石綿肺がん等の人を把握しているか。

② 現在把握している被災者は2人である。この病名で亡くなった人は、平成10年から19年までの調べで2人いた。



▲楽しんで子育てをしよう

# と調査・現地視察

## 中学生の有害図書・有害サイトの調査

総務文教

7月23日、有害図書及び中学生における有害サイトの実態について調査を行った。

町内での図書類自動販売機の設置は3カ所で、同一の業者が、有害図書類に該当する図書やビデオを販売していた。全機にマジックミラーが設置されていたが、免許証による年齢識別装置は1カ所の1台に設置されているだけだった。

最近では自分のプロフィールを記入するプロフが話題になっている。中学生の携帯電話所持は学校としては認めていないが、親の判断で持たせているのが実態である。

パソコンや携帯電話はIT時代に欠かせないものになってきているが、溢れる情報を使いこなすことや安全に使うことが求められて



いる。  
犯罪に巻き込まれないためにも利用するためのモラルやルールについて指導をより強化する必要がある。

## 飛島村など視察調査

厚生産業

7月16日から17日、愛知県飛島村と岐阜県本巣市の「農事組合法人もとすファーム」を視察調査した。

飛島村は名古屋市に隣接する人口4500人、財政指数2・78の財政豊かな村である。

この豊かな財政を背景として「日本一の健康長寿を目指す村づくり」をスローガンに、福祉政策や教育政策に、全国的にも誇れる諸政策が数多くあることを調査した。

福祉や社会教育を中心とした2施設が村民の日常生活に活用されていた。

岐阜県本巣市に所在する「農事組合法人もとすファーム」は平成19年度全国環境保全型農業推進コンクールで奨励賞を受賞した団体で、現地に向いて実態を視察調査した。



また本巣市には、農産物直売所が5カ所あり、年間売上5億円を達成しており、地産地消活動が活発に展開されていた。

# 委員会重要課題

## 全員協議会が法改正により 正規の活動に認定 議会運営

地方自治法の一部改正により、議会は、会議規則の定めるところにより、議案の審査または議会の運営に關し協議、調整を行うための場を設けることができるとされた。

今回の改正の趣旨は、各町村議会における実態として全員協議会、正副委員長会議など、議会における審議や議会運営の充実をはかる目的で、協議や調整のための場が設けられている。

ところが現行法上正規の議会活動は本会議、委員会への出席や議員派遣などに限られるという解釈がとられていることから、全員協議会等への出席については、費用弁償の支給や公務災害補償の対象にならないとされてきた。

今回の改正により、全員協議会等の活動が正規の議

会活動として明確に位置づけられたことから、今後「協議の場」への出席は、費用弁償の支給及び公務災害補償の対象となり得る。



## 議会広報研修会へ参加

議会広報

8月20日、21日、平成20年度町村議会広報研修会が東京で開催された。

3人の講師による研修内容は、「わかりやすい文章表現・表記について」「情報時代に求められる自治体広報」「インターネットの活用によるWeb作成」であった。

議会だより82号のクリニックを受けたが、常に全国コンクルールの受賞圏内にあることを評価された。追跡レポートで現地の地図をいれたこと、請願・陳情で継続審査になった理由を載せたことも評価された。

クリニック担当の講師からは、全体論として、①マンネリ化を防ぐ②行政広報との違いをハッキリさせる③原稿を正しく伝える等提言された。

研修を受けて、文章の校



正が一番重要だと改めて実感した。今まで以上に委員会のレベルアップを目指したい。

## お知らせ

町政を知るよい機会  
議会を傍聴してみませんか  
今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのだろうか。

あなたに身近なことかも知れません。

だれでも傍聴できますので、ぜひ一度おいでください。

おいでになれなかったときでも、町図書館と保健センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧ください。

次回定例会は、12月初旬の予定です。



## お願い

あなたもみんなのページ  
聖籠町に嫁いで来た  
お嫁さんに出てみませんか！

もし、私もと思っている方はご連絡下さい。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)

町役場議会事務局

☎0254-27-1967 (直通)

## 議会広報対策 特別委員会

議長	高松 春雄
委員長	宮沢 光子
副委員長	高松 守雄
委員	小川益一郎
	中村恵美子
	田村富美男
	小林 政榮

# みんな



# ページ

## 聖籠町に嫁いで来た お嫁さん



吉井 未果さん  
(丸湯)

**Q** どんなきっかけで彼と知り合いましたか？  
私が飲食店でアルバイトをしていたお店に、彼がお客さんでいつも来てくれていたので知り合いました。

**Q** 聖籠町に嫁いで来て  
どんなイメージを持ちましたか？

公園や緑がたくさんあって、子どもが大きくなったら、「あそこで遊びたいな」と思う場所がたくさんありました。

また、小学生が横断歩道を渡ろうとしていたので車を止めたら、小学生が渡った後、くるりとこっちを向きおじぎをしてくれた時は、すごく心があたたかくなりました。そんなことが何度もありました。

そしてこの町で子育てできることを嬉しく思いました。

**Q** 町での生活はどうですか？

子どもが生まれて家族が増えました。とっても毎日楽しく過ごしています。周りの人に助けられ、支えられ、感謝でいっぱいです。

これからも家族仲良く、いつも笑顔があふれる、あたたかい家庭を作っていきたいです。

**Q** 町に望むことはありますか？

夜になると本当に真っ暗になるので、もう少し街灯を増やしてほしいです。

これからも子育てしやすい町づくりをお願いします。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は新発田市出身で平成19年7月に丸湯に嫁いで来た吉井 未果(旧姓 石川)さんです。皆さんよろしくお願ひします。

議会広報対策特別委員会  
委員 田村 富美男

10月11日、「子どもを叱れない大人たちへ」と題した桂才賀師匠の講演会が開催され参加してきました。その際に購入した一冊の本から一部紹介します。大人の犯罪は、お金絡んでいる犯罪が多いということです。少年犯罪は、「心」の問題が大きいとのこと。将来に夢が持てない子どもが増えたのと、少年犯罪が後を絶たないのとは無縁ではない。少年の犯罪件数は横ばいですが、登校拒否、ひきこもりは激増しています。私たちが住む聖籠町の子どもたちは、夢を持った子どもであってほしいと思うのは私だけでしょうか。

編集後記